

施設自己評価

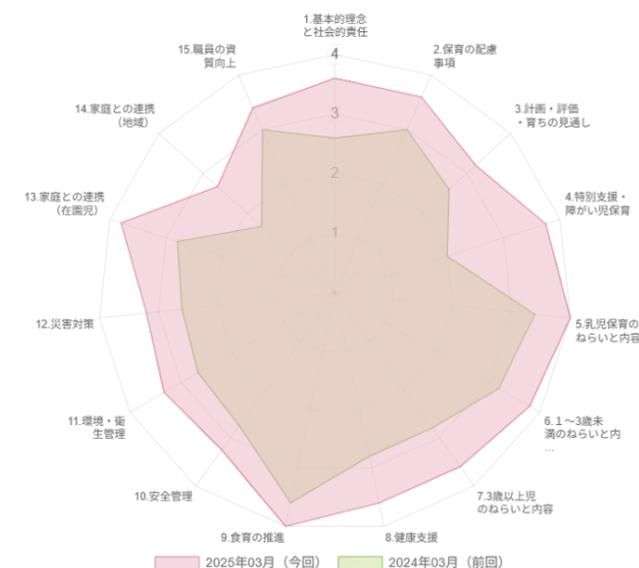
令和6年度の施設自己評価では、前年度に比べると全体的な評価は大きく伸びた。

『家庭（地域）との連携』は前年度も低く今年も低かったので、地域との連携を強め改善していかなければならない。

『特別支援・障がい児保育』のスコアが前年度に比べ改善しているので、継続して関係機関と協力していきたい。

今後も各項目を意識し、職員と共通理解を深めながら成長していきたいと思う。

スコア比較（大項目別）



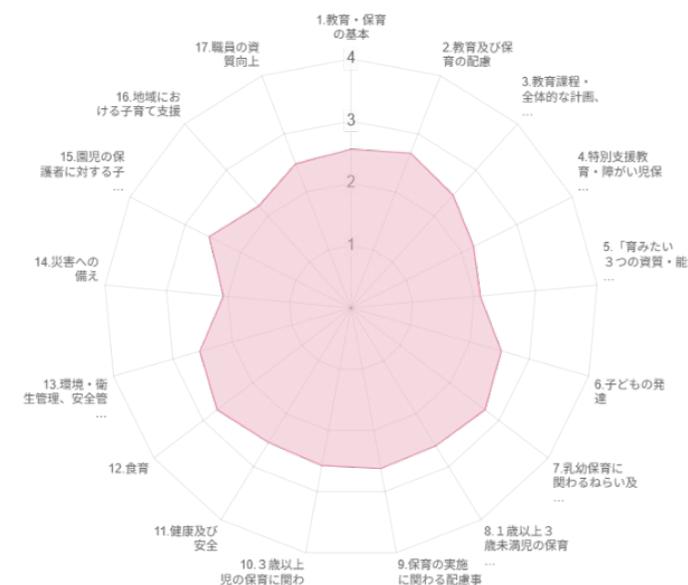
職員自己評価

【保育教諭・保育士・子育て支援員】

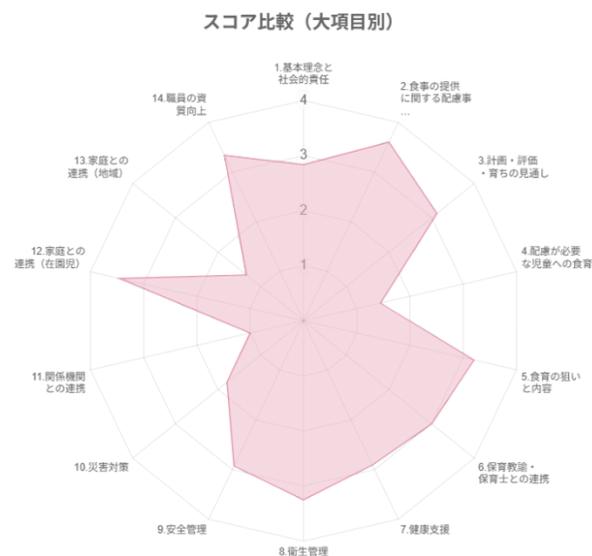
保育者の各職種の自己評価は、全体的に平均的だが、『災害への備え』、『育みたい3つの資質・能力』と「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿』のスコアが低かった。災害時の研修や避難訓練時の行動計画を明確化し分かりやすくしていきたい。また、『育みたい3つの資質・能力』と「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿』は、実践、事例研究を重ね進めていきたいと思う。

『乳幼保育に関わるねらい及び内容』に関しては、小項目の子どもの気持ちの受け止め、優しい言葉かけ等スキンシップに関わる項目の得点が高かったので継続して子ども達が安心して過ごせる雰囲気を作っていきたいと思う。

スコア比較（大項目別）



【栄養士・管理栄養士・調理員】



栄養士、管理栄養士、調理員の自己評価は、『関係機関との連携』、『配慮が必要な児童への食育』、『家庭との連携（地域）』の自己評価が低かった。給食部は地域や小学校、行政と関わる機会がないので食について連携をとれるようにしていきたく。『食事の提供に関する配慮事項』は理想に近い状態で実践できたので継続していきたく。

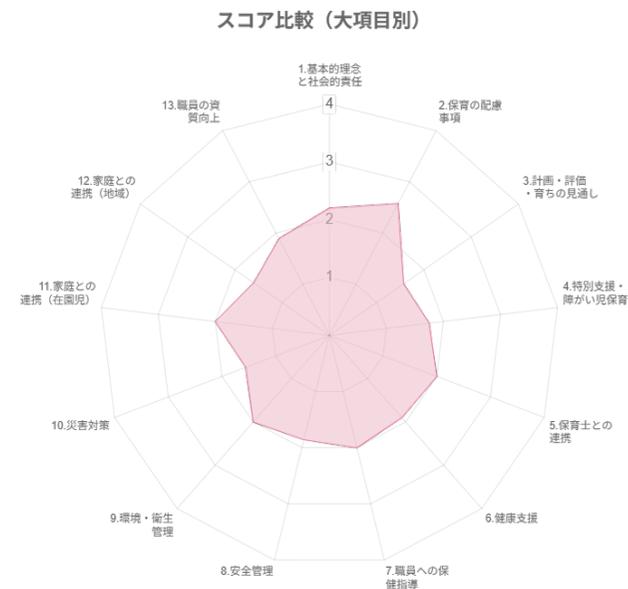
【保護者】

行事に関しては、成長した姿が見られることや職員に対する感謝の言葉が多くみうけられる。課題面としては開始時間や人数制限などの情報が早く知りたいという声や小学生が騒いだり席のことに関する声もあがった。

給食に関しては、栄養、バランスのとれた給食の提供に感謝している声が多く、家では食べない野菜を園では食べている、給食の写真も見れるので参考にしているなどの声もあった。

保護者の意見も聞きながら改善していける部分は改善していき、保護者も満足し楽しめる園を目指していきたく。

【看護師・養護教諭】



看護師・養護教諭自己評価に関しては、『保育の配慮事項』が高く、日常的には理想的に過ごしているが、非常時の『災害対策』に関しては、まだまだ不十分な点がみられたので、研修や非常災害計画等の理解を深めて改善を図りたい。